

第二十三回帝國議會
衆議院
刑法改正案委員(特別調査委員)
會議錄(速記)第四回

會議

明治四十年二月二十五日午後一時十二分開議

出席委員左ノ如シ

鳩山 和夫君

立川

雲平君

花井

卓藏君

谷澤 龍藏君

中西

六三郎君

森

肇君

向坂 弘君

板倉

中君

望月

長夫君

米田 實君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 松田 正久君

出席政府委員左ノ如シ

司法省民刑局長 平沼騏一郎君

司法省參事官 谷野 格君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

磯部 四郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

刑法改正案

○谷澤龍藏君 委員長ハ鳩山和夫君ニ願フテ、理事ハ鳩山君カラ御指名ヲ願フコトニシタイ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○鳩山和夫君 ツレデハ委員長ヲ汚シマス——御囑託ノ理事ハ谷澤龍藏君、花井卓藏君、立川雲平君ニ願ヒマス

○板倉中君 チヨット質問ヲ致シマスガ、刑ノ執行猶豫ニ付イテ——

○望月長夫君 是ハヤハリ一章毎ニトカ云フコトニシタラ如何デス

○花井卓藏君 是ハ一條毎ニ議題ニ供シテ質問ヲシ更ニ修正ヲスルコトニシタラ如何デス、其方ガ早イデセウ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長(鳩山和夫君) 御異議ガナイヤウデスカラ直ニ逐條審議ニ致シマス(花井卓藏君「表題カラ」ト呼フ)——刑法第一編總則、第一章法例

○花井卓藏君 表題異議ナシ

○委員長(鳩山和夫君) 異議ナイト認メマス、次ハ第一條ノ第一項第二項ヲ議題ニ供シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鳩山和夫君) 御異議ナイト認メマス、原案ニ決定致シマス、次ハ第二條ヲ議題ニ供シマス

○花井卓藏君 本員ハ一條及三條ヲ一括シテ議題ニ供セラレンコトヲ望ミマス、尙質

問致シタイノハ體裁ノコトデスガ二條三條ノ書方ト云フモノハ、此所ニ斯ウ掲ゲナケレバ適用ノ關係上已ムヲ得ヌノデアルケレドモ、如何ニモ不體裁ヲ極メテ居ルヤウニ思ハレル、今少シ簡古ニ書現ハス方法ハナイデアアラウカ、是ハ折角美シキ法典デアルカラシテ、傷ノアル所ハ指摘スル方ガ宜シイと思ヒマス、何カ旨イ方法ハナイモノデアアラウカ、此所マデ奮發シタモノナレバ寧ろ全然二條三條ト云フモノハ、列記ノ關係ヲ取ツデシマツテ總テ適用スルト云フコトニシタラドウデアアラウカ、ツレデ一向差支ナイモノデアアラウト思ヒマスガ、此點ニ付イテ政府委員ノ意見ヲ伺ヒタイ……

○政府委員(平沼騏一郎君) 誠ニ御尤ナ御質問デ、ドウモ條ヲ列記致シマシタノハ、餘リ體裁ノ宜イコトデハナイノデスカラ、成ルベク斯ウシタクナイトイロク、考ヘテ討論モ致シタノデスケレドモ、結局ドウ云フ風ニ書キマシテモ條ヲ列記シマセヌデ意ヲ盡スコトガ出來マセヌノデ、到頭最初ノ通ヤハリ條ヲ列記スルコトニナツタノデアリマス、其點ハ誠ニ御尤デゴザイマスガ、ドウシテモ是ヨリ致方ハナカッタノデス、ツレカラ次ニ寧ろ斯ウ條ヲ列記スル位ナラ、全部適用シタラドウデアアルト云フ御話デシタガ、是ハドウモサウ參リマセヌノハ、外國ニ於ケル犯罪ハ總テ之ヲ罰スルト云フ必要ハ認メマセヌノデ、列記致シテアリマスガ、極ク輕イ犯罪モアリマスシ、又帝國又ハ帝國臣民ノ利益、全ク關係ナイイヤウナモノモ澤山アリマスノデ、サウ云フノマデ此所ニ網羅致ス必要ハナイノデスカラ、全部適用スルト云フコトハ、ドウモ出來マイト思ヒマス

○花井卓藏君、其點ニ付イテハ法律取調委員會ニ於テモ、頻リニ御審議ニナツタヤウデ、結局是ヨリ外ニ仕方ガナイト云フ御説デシタガ、其後段々私ガ研究シタ結果、原則ヲ第二條第三條ノ法文ノ上ニ於テ示シテ置イテ、此所ニハ帝國外ニ於テ犯シタル罪、帝國外ニ於ケル帝國臣民ニ適用スベキ罪ハ、各條ニ之ヲ規定シ、サウシテ各條ニ掲ゲル方法ニシタ方ガ却テ宜イカト思ヒマスガ、サウ云フ修正説ヲ出シタラ御歡迎ニナリマセウカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 實ハツレモ考ヘテ見マシタガ、是モドウモ困ルノデス、是ガ章ニ依リマシテ適用スルモノト、適用セヌモノ、分別ガツキマスト、今御話ノ通ニ爲シ得ル、ドウモ此章ノ中デ或ハ適用シ或ハ適用セヌト云フモノガアルノデアリマスカラ、之ヲ各論ノ方ニ書クト致シマス、殆ド各條ヘ持テ來テ書加ヘナケレバナリマセヌ、サウスルト大變ニ軋裁ノ上カラ申シテモ工合ガ宜クナカラウト考ヘマス、ツレデヤハリ此法例ノ一條三條ニ之ヲ集メルコトニ致シタノデアリマス

○委員長(鳩山和夫君) 第二條第三條ヲ合セテ議題ニ供シマス

○望月長夫君 二一條三條ニ付イテチヨット御尋ヲ致シマスガ、三條ノ方デ見ルト二百三十一條ノ罪、即チ個人ノ名譽毀損ノ罪ヲ犯シタモノニ於テモ適用スルコトニナツテ居リマシテ、二條ニモ二條ニモ公務執行ヲ妨害スル罪、例ヘバ外國デ帝國ノ公務員若クハ公務所ニ對シテ執行ヲ妨害スル罪ヲ犯シタ場合ニ、何等ノ適用モシナイヤウニ見エマスガ、之ヲ國外デ犯シテ別段罰セナクテモ宜イト云フ何カ特殊ノ理由ガアリマスガ

○政府委員(平沼騏一郎君) 此二百三十一條ノ罪ヲ加ヘマシタモノハ、ヤハリ名譽ト

云フモノ他ノ權利ト同様ニ保護スル必要ガアル、斯ウ云フ考デ加ヘマシタノデ、其他ニ別ニ意義ハナイノデアリマス、ソレカラ此公務ノ執行ヲ妨害スル罪ヲ第三條ニ加ヘマセナカッタ云フ點アゴザイマスガ、之ヲ加ヘマスル結局外國ノ官憲ノ公務ノ執行ヲ帝國ノ臣民ガ妨害致シマシタ場合ヲ罰スルコトニナル、ソマリ内地ノ官憲ノ職務ノ執行ヲ保護致シマスレバ、ソレデ足リルト云フ考ヘ、刑法ノ制裁ヲ其處迄及ボス必要ガナイト云フ考デ、九十五條以下ノ條文ヲ茲ニ加ヘナカッタデアリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鳩山和夫君) 他ニ質問モ討論モアリマセヌカラ、原案ノ通り決定致シマス、第四條ヲ議題ニ供シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鳩山和夫君) 質問モ御異議モアリマセヌカラ、原案ニ決定致シマス、第五條ヲ議題ニ供シマス

○花井卓藏君 第五條ニハ異議ガアルノデスガ、是デ宜カラウト思ヒマス、斯ウ云フ法律デアルカラ仕方ガナイ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鳩山和夫君) 別段御發議ガアリマセヌカラ、原案ニ決定致シマス、第六條ヲ議題ニ供シマス

○花井卓藏君 此條文ハ大變主義ノ上ニ於テ大切ナル問題モ含マレテ居ルモノデゴザイマシテ、本會ニ於テモ質問ヲ致シタデアリマス、自分ノ信ズル所ニ依レバ犯罪後ノ法律ニ依リマシテ刑ノ變更ガゴザイマシタ場合ニハ、常ニ必ス舊法ニ從フベキモノデアラウト思フ、犯人ガ明治二十九年ニ犯罪ヲ犯シマシタ以上ハ、縱令其法律ガ明治四十年ニ變リマシテモ、二十九年ノ法律ヲ適用スルノガ當然デアラウト思フ、犯罪人ニ既得ノ權利ノアリ得ベキ答デアリマセヌガ、國家ガ犯人ニ刑罰ヲ科スベキ意思ト云フモノハ、二十九年ニ於テ極マテ居ルデアリマスカラ、二十九年ニ於テ極マテ居ル國家ノ意思、ソレヲ四十年ニ於テ國家ノ刑罰ノ觀念ガ變ハリタリトテ、三十九年ノ犯人ニ適用スルコトハ極メテ不理論ノコト、思フ、若シ此論非ナリトセバ、犯罪後ノ法律ニ依リ刑ノ變更ニナツタ折ニハ、常ニ必ス新法ニ從フト云フコトニナラケレバナルマイト思フ、即チ國家ハ犯人ニ對シテ何等ノ權利ヲモ授ケテ居ナイカラシテ、國家生存ノ必要ニ上三十九年ニ於テハ、是ダケノ刑罰ヲ科スルト云フ積リテ居タケレドモ、四十年ニ至ッテハソレデハイカナイト云フ事柄ハ、國家ガ自信ヲシテ其自信ヲシテモノヲ法律ノ上ニ於テ現ハシタシタナラバ、其通シテ往クト云フコトモ一説ト思フ、併シ此說ハ私ハ迎ヘナイノデアリマスガ本案ノ如ク現行法ト同シヤウニ新舊比較法ヲ取リテ輕キ方ヲ適用スルコト云フコトハ、意味ヲ爲サヌコトデアラウト思フ、折角改正セラレタル刑法デゴザイマスカラシテ、主義ニ關スル問題ハ一定シタイト思フ、此故ニ私ハ自分ノ持論トシテ、茲ニ極メテ新主義ニ合フヤウナ、當局ノ迎ヘラレルヤウナ修正案ヲ提出シヤウト思フ、ソレハ犯罪後ノ法律ニ依リ刑ノ變更アリタル時ニ、犯罪當時ノ法律ヲ適用ス、ト云フ趣意ニ第六條ヲ修正シタイト思フ、ドウモコ、ノ所デ犯罪當時ノ法律ト云フノハ、甚ダ文意ガ惡ルウゴザイマスカラ、御採用ニナリマシタナラバ最モ敬服スベキヤウニ文字ハ修正シマスガ、其趣意ニ於テ修正ノ意見ガ出タト云フコト

ニ御承知ヲ願ヒタイ

○磯部四郎君 私ハ花井君ニ質問スルコトガ出來マスカ

○委員長(鳩山和夫君) アナタハ特別委員デハナイノデスカ

○磯部四郎君 特別委員デハアリマセヌ

○花井卓藏君 特別委員デハナクモ委員長ノ許可ヲ得サヘスレバ、宜カラウト思フ

○委員長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ許可致シマス

○磯部四郎君 チョット質問致シマスガ、花井君ノ御説ハ如何ニモ御尤ノヤウニ考ヘラレマスガ、唯今ノ御説ニ依リマス若シ新法ニ依テ舊法ノ即チ刑ト云フモノヲ廢シマシタ場合ニハ、ドウナリマスカ、其時ニハヤハリ廢シタニモ拘ラズ、舊法時代ノ犯罪人ハ其廢セラレタ刑ヲ復活セシメテ、之ヲ獄舎ニ繋イデ置クコトニナリマシテモ差支ナイノデアリマスカ

○花井卓藏君 左様ニナリマシテ差支ハナイノデゴザイマス、併ナガラ茲ニ注意スベキコトガアル、其刑ヲ廢スト云フ法律ヲ出シテシマシテモ、其法律ト云フモノガ力ヲ持ツト云フコトニナッテ居レバ、其主義ヲ貫カント欲シテモ仕方ガナイ、其法律發布ノ結果トシテ已ムヲ得ヌデアアル、故ニ茲ニ古イ刑法ト新シイ刑法トアッデ、是ガ並ビ、舊法デハ罰スル、新法ノ方デハ之ヲ犯罪ニ見テ居ナイ場合ヲ想像シテノ御質問ナラバヤハリ罰スルト云フ趣意デス

○磯部四郎君 罰スル——ソレハ少々困リマスナア——ドウカ御採決ヲ願ヒマス

○米田實君 チョット私ハ花井君ノ御説ニ賛成シタイト思ヒマス、ナゼナラハ詰リ法律ト云フモノハ、サウ云フ意思ノ輕イモノデアアルマイト思フ、今日ノ現在ノ法律ト云フモノモ甚ダ不都合極マル法律デアルト云フモノデアアルマイト思フ、犯罪人ハ今日ノ刑法ナラ刑法ノ下ニ於テ犯罪行為ヲ犯シテ居ル、其後法律ガ廢セラレヤウガ、改正ニナラウガ、其恩典ヲ受ケル權利ヲ認メナケレバ國家ガナクナリマスカラ、ヤハリ其法律ヲ廢スルマデハ何處マデモ法律ノ効力ヲ持タセ、縱令廢止後ト雖モ其當時ノ法律ノ上ニ於テ罰ヲ受ケルモノハ、罰スルト云フコトハ無論ノコトデアラウト思フ、唯今磯部君ノ御質問ノ如キ事ナラ、是ハ方法ノ上ニ於テ幾ラモアラウ、刑ノ執行猶豫ト云フ恩典モ幸ニ設ケラレテアルカラ、其方法ハ幾ラモアラウト思フ、ヤハリ國家ト云フモノハ威信ヲ重ンズル上ニ——法律ノ威信ヲ重ンズル上ニ於テ、花井君ノ御説ノ如ク修正シタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○谷澤龍藏君 私ハ花井君ト反對デアリマス、既ニ刑法其必要ナクシテ廢シ、又重キニ過グルノデ改正シテ居ルモノニ、ソレニヤハリ廢止セヌ前ニサウデアッタカラ罰スルト云フコトハ餘程酷ナ話デ、又義モ徹底シナイ、原案デ宜カラウト思フ

○委員長(鳩山和夫君) 花井君ノ修正案ニ賛成ガアリマスカラ採決シマス、御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○委員長(鳩山和夫君) 少數——原案デ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鳩山和夫君) ソレデハ第六條ハ原案ノ通り決定シマス——第七條ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(鳩山和夫君) ソレハ原案ノ通り決定シマス——第八條ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(鳩山和夫君) 原案通り決シマス——第二章刑

○花井卓藏君 此「刑」ト云フ下ニ刑名ト云フ「名」ノ字ヲ一字加ヘタイ「刑」ノ名義ヲ示シテアル章ゴザイマシテ「名」ノ字ヲ付スルト云フ事柄ガ極メテ体裁ガ宜イダラウト思ヒマス、其他ノ各條ヲ見マシテモ「字」ノ所ハ二編ノ所ニ「罪」ト云フノガ一ツアルダケデ、罪ト云フトコロニモヤハリ下ニ適當ノ文字ヲ入レタイト思ヒマス、小サイコトノヤウデアリマスケレドモ、軀裁上ニ於テモオカシイコトデヤナカラウト思ヒマス「刑名」ト云フ修正説ヲ出シマス

○立川雲平君 チヨット政府委員ニ御尋シマスガ、現行刑法ニハ「刑名」ト有ル様デスガ、「名」ノ字ヲ取ツタノデスカ、是ハ取ルベキ何カ必要ガアッタノデスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 御話ノ通り現行刑法ニハ「刑名」トアリマシテ、今度ノハ「刑」トアリマスガ、ソレハ現行刑法ノ「刑名」ト云フノハ、第二章中ノ一節ニナッテ居リマス、之ニハ今花井君ノ云ハレマス通り、「刑名」ト掲ゲタル、併シ其外ノ現行刑法ニハ主刑處分ト云フモノガアル、是ハ刑名以外ニ第二章トシテ掲ゲタルノデアリマス、今度ノ草案ニ於キマシテハ此主刑處分トカ、附加刑處分トカ云フモノハ、ヤハリ其第二章ノ中ヘ入レテ規定シデアリマスカラ、少シ「刑名」ト書キマスト狹クナルノデアリマス

○立川雲平君 處分モ這入ッテ居ルノデスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 其通り

〔原案賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(鳩山和夫君) ドウデス、チヨット御諮リシマスガ、委員審査會デモ賛成ノナイ御動議ハ、決ヲ採ラヌ、デ宜シウゴザイマスカ

〔宜シウゴザイマス〕ト呼フ者アリ

○委員長(鳩山和夫君) 花井君ノ「刑」ノ字ノ下ニ「名」ノ字ヲ加ヘルコトニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○委員長(鳩山和夫君) 少數

○花井卓藏君 是カラドウカ、手ヲ舉ゲルコトニ……

○委員長(鳩山和夫君) 此表題ハ原案ニ決定シマス——第九條ヲ議題ニ供シマス
○花井卓藏君 第九條中ヨリ「死刑」ノ二字ヲ削リ「沒收」ヲ附加刑トス」ノ八字ヲ削ル修正案ヲ提出致シマス、唯今同僚ノ方ヨリ承ハルト、死刑ノ存廢問題ニ就イテハ十分ニ審議シテ意見ヲ發表スル積デアル、ソレデアルカラ成ルベク之ヲ宿題ニシテ貰ッテ、今日採決セヌヤウニト云フ御注意ガアリマシタ、即チ立川君ヨリ其注文ガアッタノデス、勿論大ナル問題デアリマスカラ之ヲ宿題ニセラレントコトヲ私ハ望ムノデスガ、全体此改正案ノ中ニ於テ、一番喜ブベガザルモノハ何デアルカト云フタラバ、此死刑デアル、死刑ノ存廢ハ議既ニ熟シテ居ルカラ、更メテ私ノ申スマデノ必要ハ或ハナイカモ知レマセヌケ

レドモ、眞ニ其同僚ダケハ茲ニ於テ一言致シテ置ク必要ガアラウト思フ、第一ニ自分ノ主張致シマスル所以ハ、死刑ヲ存置スベキ法律上ノ理由ト云フ分ラナイ政策上ノ理由ハ或ハアルカモ知レナイ、併ナガラ法律上ノ根據ハ少シモナイ、元來此死刑制度ト云フモノガ今日マデ存在致シテ居ルト云フコトハ、極メテ此野蠻時代ノ法律ノ形ヲ遺シテ置イテ、而シテ法律ノ威信ト云フモノヲ段々ニ落スト云フ外ニハ意味ノナイ事ダラウト思フノデアル、國家ハ人ヲ殺スモノヲ以テ非ナリトシテアル、蠻行ナリシトアル、而シテ斯ノ如キ者ヲ罰スルノ規定ヲ設ケテ居ル、己レ自ラ蠻行ナリトシテ罰スルト云フ事柄ヲ判斷シテ居リナガラ、ソレヲ制裁スルニ又自ラ國家ノ權力ヲ以テ此蠻行ヲ再ビスルト云フ事柄ハ如何ナル理由デアルカ、刑罰ノ基礎ナド、云フコトヲ此處デ申シアゲル必要モ何モアリマセヌケレドモ、主義ノ上ニ於テ、今日復讐ノ觀念ヲ以テ刑ヲ編ミ立テルモノハ一ツモナイ、處ガ人ヲ殺シタ者ハ死刑ニ處ス、明カニ復讐ノ主義ヲ採用スルモノト云ハナケレバナラヌ、又死刑ト云フモノヲ存在シテ置イテ之ニ依ッテ特別ノ豫防若クハ一般ノ豫防ノ上ニ於テ著シク効驗ガアルカト云フタラバ決シテサウデナイ、特別豫防ノ上カラ見マスレバ、人ヲ殺ス位ノ者ハ殺サレル位ノ覺悟ヲシテ居ル、覺悟ニ對シテ覺悟同様に刑罰ヲ科スルモノハ、犯人ニ對スル刑罰トシテハ何等ノ効驗ヲナスモノデハナイノデアル、又一般ノ豫防ノ上カラ考ヘテ見マスレバ、アノ人ガ人ヲ殺シタカラ若クハ甚シキ大罪ヲ犯シタカラ死刑ニ處セラレタノデ、是ハ大ニ警戒ヲシナケレバナラナイト云フ感念ハ一般ノ人々ノ上ニ起ルベキモノデアルカ、之ニ依ッテ警戒ノ念ヲ發スルモノデアルカト云フニサウデハナイノデアル、之ヲ敢テスルモノハ、ヤハリ特別豫防ノ際ニ申上ゲタト同ジコトデ、自分モヤハリ其覺悟ヲ往クノデアルカラシテ、少シモ之ニ付イテ警戒ノ念モ覺悟ノ念モ發シナイノデアリマスカラシテ、一般ノ豫防ノ上ニ於テモ一向効果ト云フモノハ私ハナイト思ヒマス、ソレノミナラズ死刑ト云フモノ程誤判ノ多イモノハナイ、明確ナル統計ハ私ハ持ッテ居マセヌケレドモ、歐洲諸國ニ於テモ死刑廢止論ノ必要ノ理由トシテ現ハレテ居ルモノハ誤判ノ最モ多イコトデアル、一度誤判ヲシタナラバ再ビ回復スルコトハ出來ナイ、即チ再審ノ途ガナカラウト思フ、其人一度死刑執行確定ノ後ニ於テハ奈何トモスルコトガ出來ナイ、微々タル刑罰ニ向ッテモ再審ノ制度ヲ立デ、居ルノデアル、然ルニ死刑ノ如キ大罪ニ向ッテ再審ノ制度アリト雖モ、再審ノ理由ヲ死刑執行後ニ發見シタ場合ニハ遂ニ之ヲ回復スルコトガ出來ナイ有様ニナルト云フコトハ、微罪ニ法律ノ恩典ヲ厚ウシテ大罪ニ法律ノ恩典輕キモノト云ハナケレバナラヌ、否ナ寧ロ何等ノ利益ト云フヲ授ケヌモノト云ハナケレバナラヌノデアル、此ノ如キ理由デゴザイマスカラシテ、是ガナカラネバ刑法典ヲ行ウテ國家ノ生存ヲ支持スル上ニ於テドウシテモ缺クコトガ出來ナイ、或ハ又此刑ガナカラネバ重キ犯罪ト云フモノヲ處分スルニハ制裁法ガナイト云フナラバ格別デアル、ケレドモ幾ラモ方法ト云フモノハアルダラウト思フ、ソレデゴザイマスカラシテ、此死刑ト云フモノハ全然廢止セラレントヲ熱望スル、今日實際ノ實例ト云フモノハ御承ジノ如ク伊太利ノ如キ、和蘭ノ如キ、諸國ノ如キハ全然之ヲ廢シテ居ル、佛蘭西ハ昨年ノ議會ニ於テ原則トシテ死刑ヲ廢スベキコトヲ議決シテ居ル、英吉利ハ死刑ト云フモノヲ存置シテ居ルケレドモ、實際ニ於テ之ヲ行ハヌ、亞米利加ノ中ニ於キマシテモ五洲カ六洲ハ確ニ死刑ヲ廢シテ居ル、各國ノ立法例ハ此蠻刑ヲ迎ヘザルコトニ注意シテ居ル、所謂改正ノ聲ガ起ツタナラバ、必ズ之ヲ廢スル

ト云フコトガアル、獨逸刑法ニハ死刑が存シテ居リマスケレドモ、是ハ御承知ノ如ク議會ニ於テ二讀會マデハ大多數ヲ以テ通過シテ、三讀會ニ至ッテ僅ニ七名カ八名ノ少數ヲ以テ存置スルコトニナッテ居ル、此存置スルコト云フ事柄ニ付イテモ大變ナ壓力ヲ加ヘテ、「ヒスマー」カ死刑ヲ存置スル刑法ヲ維持セヌケレバ國會ヲ解散スルト云フコトノ斷言ノ下ニ畏懼シテ、遂ニ之ヲ存置セラレタモノデアアル、ソレデアアルカラシテ精シイ論ハ是ハイツレ修正案トシテ委員會ニ於テ御迎ヘ下サル、コト、思ヒマスガ、本會ニ於テハ磯邊君アリノ反對モアラウト思ヒマスカラ、其時分ニ十分説明スル積リデアリマスカラ、此修正案ニ對シテ滿場一致ヲ以テ贊成ヲ願ヒマス、ソレカラ是ハ大キイ問題デアリマスカラ、宿題トシテ此分ダケハ置イテ戴キタイ、ソレカラ沒收ノ附加刑ヲ削ルト云フノハ別ニ大變ナ説明ハ要リマセヌガ、既ニ監視ト云フモノモ附加刑ヨリ削ラレ公權剝奪ト云フモノモ附加刑ヨリ削ラレ、而シテ沒收ダケ一ツ附加刑トシテ存シテ置ク必要ハナイ、併ナガラ之ニ代ハル方法ハ何カナイカト云ヘバアル、現在ノ單行法ニ依ッテ見ルト、裁判力ニ依ラズシテ行政ノ處分ヲ以テ犯罪物件ヲ沒收セラレベキモノハ幾ラモアル、澤山茲デ舉ゲルコトハ出來マセヌデ、一ツダケ、覺エテ居ルノハ外國貨幣ニ關スル法律、ソレカラモウ一ツ知ッテ居リマス、紙幣類似云々ト題スル法律ニモアリマス、ソレデアリマスカラシテ、ソレ等ニ依ッテ補ヒノ附ケベキモノ、又補ヒノ附加刑イモハ更ニ單行法ヲ改正ラシタナラバ宜イダラウト思フ、是ハ極ク善意ナル修正デアッテ沒收杯ト云フモノハヤハリ裁判機關ノ手ニ委ネテ正式ノ裁判ヲ經ズトモ一見明瞭犯罪供用ノ物件、犯罪ニ依ッテ得タル物件、法律ニ於テ禁制シタル物件ト云フヤウナモノハ行政ノ處分ニ於テ機宜ニ沒收ラスト云フ事柄ガ宜シキニ適スルモノト私ハ思フ、ソレデアリマスカラシテ此案ニ是非御贊成ヲ願ヒタイ

○森肇君 私ハ此際ニ斯ウ云フコトヲ御尋ラシタイ、政府委員ニ此犯罪者ノ被告人員ト云フモノハ豫テ參考ノタメニ受取りマシタ表ニ於テ、明治三十二年度乃至三十八年度マデノ分ハ明ニ知ルコトヲ得テ居リマス、其中ニ於テ私ハ斯ウ云フ區別ヲ分ケテ御調ガアレバ承リタイ、此犯罪者ノ中ニ於テ第一審ニ於テ死刑ノ判決ヲ受ケタモノガ第二審若ハ第三審ニ於テ無罪ニナッタモノガアルヤ否ヤ、或ハ二審ニ於テ有罪ニナッタモノガ三審ニ於テ無罪ニナッテ居ルモノガアリハシナイカ、ソレ等ノ區別ガ分ッテ居マシラバ其事ヲ詳細ニ承リタイ

○政府委員(平沼騏一郎君) 實ハ此第二審第三審トノ結果ハヤハリ纏メデアアルノデ、第一審ノ如ク精シク出テ居リマセヌ、併ナガラ御參考ニナリマス執行ニナリマシタ人員ガアリマスカラ、之ヲ申上ゲタラバ御參考ニ十分ナラウト思ヒマス、ソレニ依リマス執行致シマシタ人員ヲ計算致シマス、明治三十二年ガ三十二人、三十四年ガ二十九人、三十五年ガ二十八人、三十六年ガ四十一人、三十七年ガ四十五人、三十八年ガ三十六人、是ガ執行致シマシタ人員デゴザイマス

○森肇君 私ハ唯今ノ花井君ヨリ死刑廢止論等モ出テ居リマスノデ、實ハソレ等ノ參考ニ供シタイノデアリマスガ、自分等ガ實地ニ經驗スルコロニ依リマシテモ、第一審ニ於テ死刑ノ言渡ヲ立派ニ受ケタモノガ、第二審ニ於テ無罪ニナッテ、其儘ニ確定シタモノモアル、又第一審二審トモ有罪ニナッテ死刑ノ宣告ヲ受ケタモノガ、第三審ニ至ッテハ或ハ破棄ノ結果、無罪其他ニ減シタモノガアリマセウ、此等ノコトハヤハリ死刑廢止ニナ

ルト云フ論ノ起ル上ニ於テハ最モ吾々ガ贊否デ極メル上ニ於テ必要ナル點デアラウト思ヒマスノデ、是ハ御調ガツキマスモノナラバ、次會マデモ宜シイカラ是非御調ノ上御報告ヲ願ヒタイノデアリマス

○磯部四郎君 私ハ此花井君ノ所謂死刑廢止ト云フ事柄ニ付イテハ、成程理想上花井君ノ言ハレタ通りノコト、考ヘマスガ、併シ私ハヤハリ此死刑ハ存在セシケレバナラヌト云フ考ヲ持ッテ居ル、其次第柄ハドウ云フ次第デアアルカト云ヘバ、元來此死刑ニ付イテ一ツ恐れ、コトハ即チ誤判ト云フ問題デ、誤判ノアツタ時ニハ回復ガ附カヌト云フ事柄ハ是ハ新シイ議論デナク致シマシテ、則チ死刑ト云フモノハ、世ノ中ニ産レテカラ今日迄何レノ國ノ法律家モ死刑ニ付イテハ一方ハ刑ノ同等ノ苦痛ヲ感ゼシムルト云フ點ニ於テ、死刑ホド立派ナモノハナイケレドモ、併ナガラ他ノ一方ニ於テハ死刑ホド誤判ノアツタ場合ニ之ヲ回復スル途ガナイモノハナイカラ、是ハ實ニ危險ナモノデアアル、斯ウ云フ事柄ニナッテ始終死刑ト云フモノハ問題ニ上ッテ居ルデアリマス、ソレデアリマスカラ現行刑法ニ於テハ、能ク死刑ノ執行ノミニ付イテ、司法大臣ヨリ上奏ヲ經テ御裁可ノ上ニ初メ執行セラル、ト云フヤウナ御手厚イコトニ成テ居リマスノハ、即チ誤判ノ憂ノナイヤウニ力メラレタデアラウト思ヒマス、即チ今日ノ二百條ヲ見マスト現行刑法トハ、モウ一層即チ只今花井君カラ云ハレタ、人ヲ殺シタモノハ死スト云フコトハ復讐ノ刑法ノ根據ニ基イテ居ルモノデアアル、成程サウデアリマセウ、サリナガラ今日ノ二百條モ死刑、無期懲役若クハ三年以上ノ懲役トシテ、サウシテ裁判官ニ最モ廣キ權限ヲ與ヘ、餘程事實ノ調査ヲセンケレバナラナイト云フヤウナ風ニ出來テ居リマス、加之尙又施行法等モ出來マシラバ死刑ノ執行ト云フコトニ付イテ十分ニ其ヤウナ手續モ必ズ出來ラデアラウト想像シテ居リマス、尙其上ニ誤判ト云フ事柄ハ私ハ他ノ國ノ法律ハ精シク存ジマセヌケレドモ、佛蘭西ノ法律ハ少シク知ッテ居リマスガ、佛蘭西ノ法律ハ餘程危險ガアル、ソレハ何ゼカト申シマス、佛蘭西ニ於テハ重罪ノ裁判ト云フ事柄ニ付イテハ、一審二審ト云フ復審ト云フコトハナイノデアリマス、即チ「グールダツシル」ト云フ所謂陪審ト云フモノガ列席シテ、サウシテ僅ニ一審、即チソレガ確定判決デ、尤モ上告スル餘地ガゴザイマスケレトモ、是ハ全ク法律手續ヲ誤ッタ時ダケデゴザイマスカラ、佛蘭西ニ於キマシテハ誤判ノ恐れガ餘程ゴザイマス、サリナガラ日本ニ於キマシテハ誤判ト云フ事柄ニ付イテ、幾ド實際ニ其憂ガナイト云フコトガ言ハレヤウカト私ハ考ヘマス、現ニ花井君ハ御覽デアリマセウガ、成程吾々共ガ第一審ニ於テ死刑ノ宣告ヲ受ケタ被告ガ、第二審ニ於テ花井君ノ力ニ依ッテ無罪ニナッタ人間モ實際居ルノデアリマス、ソレデ今日此死刑ニ關係シマスモノデ、恐クハ日本ニ誤判ガアツテ、誤判ガアツタ、メニ執行セラレタト云フ實例ヲ舉ゲテ、サウシテ死刑ノ攻撃ト云フモノハ幾ド出來マイト思ヒマス、日本ニ於テハ却テ死刑ニ處スベキモノヲ誤ッテ無罪ニ致シタ例ハアルカモ知レマセヌケレドモ、誤ッテ死刑ニ處シマシタ例ト云フモノハ幾ド日本ニハナイノデアリマス、又私ハ此刑法ト云フモノハ蠻行デアルト云フ議論デアリマスケレドモ、蠻行論カラ往キマス刑法ハ悉ク蠻行ノモノデアラウト思ヒマス、元來終身人ヲ縛ッテ置ク、五年七年人ヲ縛ッテ置クト云フヤウナコトハ、所謂社會ガ他ニ取締ル方法ガナイカラ、云フ野蠻ナ方法ニヤルノデ、成ルベクサウ云フコトハヤラヌ方ガ宜カラウト云フコトニナリマスガ、結局理想的カラ論ジマス刑法ト云フモノハ變則デ、云ハバ社會ニ

刑罰權がアルト云フコトハ私ハ疑ッテ居ルケレドモ、是ハ已ムラ得ザルタメニ出デ、此刑罰ト云フモノヲ以テ一時犯罪人ヲ處理シテ往クノデアリマスカラ、唯獨リ死刑ノミ理窟ガナイモノデアルト云フコトニナルナラバ、刑罰全骸が根據ヲ缺クモノデアラウト考ヘマスカラ、尙今日ニ於テ死刑ト云フモノハ必要デアラウト考ヘマスカラ、花井君ノ御議論ニハ至極贊成シタウゴザイマスケレドモ、是ハ尙今日ハ存在シテ置カナケレバナラヌト考ヘマス、ソレカラ沒收ノ問題ニ付イテハ是ハ十九條ヲ御覽ニナルト分リマスガ、之ヲ明カニ制限ヲ立テ、犯罪行為ヲ組成シタル物トカ、犯罪行為ニ供シ又ハ供セントシタル物、犯罪行為ヨリ生ジ又之ニ因リ得タル物ト云フヤウナモノニ、サウシテ之ヲ返セバ犯罪人ニ返サナケレバナラヌ、何トナレバ其末項ニ沒收ハ其物犯人以外ノ者ニ屬セザルトキニ限ルトゴザイマスカラ、犯人トナツタ人ニ是ダケノ物ヲ渡シテ置クト云フコトハ、ドウモ不都合ト考ヘマスカラ、是共ニヤハリ唯今ノトコロデハ此儘差置カル、方ガ然ルベキコト、信ジマス、宜シク御採決ヲ願ヒマス

○立川雲平君 此問題ニナツテ居ルハ即チ死刑廢止論デアリマスガ、唯刑法ノ上カラ見マスト一條ニ過ギマセヌケレドモ、是ハ人各々身命ニ關係シマシテ容易ナラザルコトデアリマス、私共之ニ付イテ考ガゴザイマスガ、此十九條ハ後廻シニ願ヒタイト、云フモノハ森君ノ求メラレタ統計等モ見タウゴザイマスシ、今日ハ既ニサウ進行セラルヤウニモ思ヒマセヌデアリマス、私モ勸考モゴザイマスカラ、是ダケヲ後廻シニシテ次ヘ行ツテ置カレンコトヲ願ヒマス、沒收モ一緒……

○花井卓藏君 ヤハリ私モ政府ニ要求シテ置キマス
○委員長(鳩山和夫君) 其問題ヲ極メテシマヒマセウ、九條ハ今日決ヲ採ラヌコトニシテ宜シウゴザイマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鳩山和夫君) ソレデハ之ニ付イテハ討論採決共ニ延期シマス

○森肇君 同時ニ尙前申シマシタ通ニ前ノ統計ニ付イテ御調が出来マスレバ、政府委員ノ御調ヲ願ヒタイ、ソレカラ唯今刑ノ執行ヲ遂ゲラレタル三十二年度カラ三十八年度マデノ數ハ御報告ニナリマシタガ、チヨット之ニ計算シテ見マスルト二百一十一人バカリニナル、ソレカラ死刑ノ宣告ヲ受ケテ居ル者ガ二百八十八人アラウト思ヒマス、サウスルト七十四人ト云フモノガ、死刑ノ執行ヲ免レテ居リマス、是ハ思フニ未ダ其執行ガ猶豫セラレテ居ル者モ其中ニアラウト思ヒマス、或ハ死刑ノ宣告ヲ受ケテ牢死シタ者モアラウト思ヒマス、何カ其他ノ事情ニ於テ或ハ逃走等モアリマセウシ、是等ノ區別ノ御調が出来マスレバ共ニ御調査ヲ願ヒタイ

○花井卓藏君 私モ同時ニ要求ヲシタイガ、此死刑ニ處セラレタル人ニシテ特赦ヲ上奏セラレタル囚人ノ數ガ幾許デアルト云フコトヲ御調べ願ヒタイ、ソレカラ第九條ガ既ニ宿題ニナリマシタ以上ハ、十條、十一條ト云フモノハ宿題ニスル程ノモノデハゴザイマスマイケレドモ、ヤハリ其儘ニ御預リヲ願フヤウニシタ方が便宜ガ宜カラウト思ヒマス
○板倉中君 九條ガ宿題ニナツタカラ十條、十一條ハ議シテモ仕方がアリマセヌ、是ハ共ニ延ベナケレバナラヌ

○委員長(鳩山和夫君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、十條十一條ハヤハリ死刑ニ關係

シマスカラ共ニ延期シテハドウデセウ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(鳩山和夫君) ソレデハ十條十一條モ併セテ質問討論共ニ延期致シマス、第十二條ヲ議題ニ供シマス

○花井卓藏君 十二條ヲ修正致シタウゴザイマス「懲役ハ一月以上二十年以下トス懲役ハ監獄ニ拘禁シ定役ニ服ス」斯ウ修正シタイ、要スルニ無期刑ヲ廢スルト云フ修正デアリマス、無期刑ニ代フルニ二十年ノ有期懲役ニ處スルヲ以テセントスル案デアリマス、無期刑ノ利害得失ハ既ニ本會ニ於テモ述ベテ置キマシタシ、諸君ノ前デ再ヒ繰返ス必要モナシ、補足スベキ理由ハ幾ツモゴザイマスケレドモ、大抵御承知デアラウト存ジマスカラ申上ゲマセヌ、唯主義トシテ私が二ツノ項目ヲ申上ゲテ置キタイ、無期刑ト云フモノハ其刑ニアラズ、死刑以上ノ惡刑ナリ、ソレカラ第三ニハ無期刑ト云フモノハ犯人ヲシテ絶望ノ淵ニ沈マシメテ、彼ヲシテ遷善感化ノ念慮ヲ發セシムヘキ途ヲ杜絶スルモノデアル、斯ノ如キ惡刑ト云フモノハ存置スベキノ必要ガナイ、而シテ二十年間拘禁スレバ無論無期刑ニ代フルダケノ價值ハアルデアラウト思ヒマス、殊ニ此利害得失ハ畜ニ法律上ノ問題ノミナラズ、政治上ノ問題トシテモ、宗教上ノ問題トシテモ、社會上ノ問題トシテモ、是モ大ニ攻究ヲシナケレバナラヌ點ガアルノデゴザイマシテ、其攻究ハ十分ニ盡シタ極此案ヲ提出スルモノデゴザイマスカラ、磯部君ニ於キマシテモ死刑ハ暫ク措キマシテ、此點ダケハ御贊成ヲ願ヒタイト存ジマス

(「原案異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鳩山和夫君) 花井君ノ動議ヲ贊成ガアリマスカ——贊成ガナイヤウデスカラ、モウ少シ先キニ進ミマセウ

○米田實君 私ハ十二條モ共ニ併セテ宿題ト願ヒタイ、斯ウ云フ私ハ意見ヲ提出スル、ソレハドウ云フ理窟ガト云フト、此死刑ヲ廢スルト、廢シナイトニ依リマシテ、此點ハ餘程考ヘネバナラヌダラウト思ヒマス、或ハ無期刑ト云フモノハ死刑ト云フモノガ廢シナイコトニナレバ、無期刑ノ必要ガナクナルカモ知ラヌ、ソレ故ニドウカモ宿題トシテ死刑ノ場合ト共ニ延シテ置キタイ、斯ウ云フコトニ願ヒタイ

○花井卓藏君 此案ハ甚ダ迎ヘラレナイ案デアッデ、此處デ自白スルト云フ事柄ガ穩當デアルカ、穩當デナイカ存ジマセヌガ、私が最も熱心ニ主張スル案デゴザイマスカラシテ、有体ニ申上ゲマスルガ、法律取調委員會ニ於テモ一人ノ贊成者ヲ得ナカッタ、併ナガラタツタ一人私ノ尊敬スル人デ有力ナル人が贊成ノ發言ダケハ責任ナキ場所ニ於テ明言シタノデアル、ソレカラ實際之ライロく司法ノ理事者ナリ、裁判官ナリ、司獄官ナリニ聞イテ見マスルト、實際ドウモ此位惡劣イ刑ハナイ、事實其犯人ト云フモノガ自暴自棄ニナツテ、兎ニ角無期以下ノ犯罪ト云フモノハ自由自在ニ監獄内ニ於テ犯ス、終身懲役ト云フコトヲ犧牲ニ供シテ居ルモノデアルカラシテ、如何ニ之ヲ感化遷善ノ途ニ導カウトシテモ、本人既ニ絶望ノ淵ニ沈ンデ一向之ヲ省ルコトヲナサズシテ、全ク監獄ノ理事者ハ困ッテ居ル、是モ新シイ議論デアルカト云ヘバ新シイ議論ハナイ、既ニ今日ノ刑法學者者ト云フモノハ何レノ國ニ於テモ無期刑ノ廢止ハ死刑ノ廢止ヲ叫ブヨリモ大キイ聲ヲ揚ゲテ叫ンデ居ルヤウナ有様デアリマス、ソレカラモウ一ツハ甚ダ異イコトデゴザイマスガ、無

期刑ト云フモノニ處セラレタルモノヲ絶望ノ淵ヨリ救フノ途ガアルト云フ論ガアル、ソレハ即チ特赦デアルトカ、大赦デアルトカ云フコトニ依ツテ、本人ガ眞心悔悟ヲシタナラバ、相當ナル救済法ガアル、ト斯ウ云フノデアリマス、併ナガラ私ハ天皇ノ大權ニ屬スル畏多キ上奏權ナドヲ屢々スルト云フコトハ甚ダ喜バザルノミナラズ、實ハ畏多イコトデアラウト思フ、ソレヲ忍ブコトガ出來ルナラバ法律ノ上ニ於テ明カニ限定シテ置イタ方が宜シイ、今日司法當局ニ統計ノ要求ヲ致シマシタガ、監獄ニ移サレテ二十年間無期刑ニ處セラレタ者デ、命ヲ保ツテ居ツタ者ハ恐ラク一人モ無イダラウト信ジテ居ル、二十年間監獄ニ命ヲ保ツテ居ツタ者ハ一人モナイト信ジテ居リマス、サウ致シマシタナラバ名ハ無期刑ト云フト雖モ、實ハ二十年以下ノ有期刑ト同ジコトナノデゴザイマスカラシテ、此委員會ニ於テ輕卒ニ迎ヘラル、ト云フコトハ甚ダ私ハ喜バヌ、私ハ此問題ニ付イテ法律上、事實上、政策上、有益ナル反對ノ御論ガアレバ謹シテ教ヲ受ケテ參考ニ供シタイト實ハ自分モ思ウテ居ル、唯一概ニ無期刑ト云フモノハ全然存置シナケレバナラヌト云フ斷定ノ下ニ葬ラレルコトハ私ハ甚ダ喜バヌ、勿論提出シタ者デアルカラ喜バヌノハ當リ前デゴザイマスガ、刑法ノ面目ノタメニ私ハ喜バヌ、希クハ之ヲ宿題ニ供セラレテ、更ニ審議ヲ盡サレンコトヲ希望致シマス、他ニ宿題ニ供スベキ問題ハ外ニアルマイト思ヒマスカラ、ドウカ米田君ノ說ノ成立タンコトヲ望ミマス、サウ重大ナ問題ヲ一瀾千里ニピシヤ／＼ト極メテ往クコトハ要ルマイト思ヒマス、ソレダケノ希望ヲ諸君ニ訴ヘテ置キマス

○委員長(鳩山和夫君) 之ヲ宿題ニスルト、其次ノ第十三條「禁錮ハ無期及有期トス」是モ宿題ニシタクナル、サウナルトアト有期ノ懲役、罰金、コンナモノニモ多少響キヲ生ジテ來ルカラ、今日ハ此處デ止メテシマッタラドウデス

(贊成々々ノ聲起ル)

○委員長(鳩山和夫君) 宿題ト云フモノハ餘リ殘ッテ居ルノモ面白クナイカラ、今日ハ是デ散會シテシマッタラ如何デス——ソレデハ今日ハ是デ散會シマス

午後二時九分散會